

## 一月往ぬる二月逃げる三月去る



一月往ぬる二月逃げる三月去る（いちげついぬる にげつにげる さんげつさる）と言います。これは、「1月は正月があり、2月は元々他の月より日数が短く、3月は年度末でやることが多い。だから、あっという間に日が経ってしまう。」という意味だそうです。1, 2, 3月は、やることが多いのに思うように事が進まないということもあるかもしれません。

さて、生徒の皆さんには、「皆に平等に与えられているものが時間である。」という話をしたことがあります。3学期がスタートして2月末まで、24時間×59日＝1416時間という時間がありました。もちろん、その時間の中には睡眠時間や食事時間等、人間が生きていくうえで欠かせない時間も含まれています。では、それ以外の時間はどう過ごしましたか？授業中、放課後、土曜日や日曜日、……。その時間を「なりたい自分の姿になる」ための時間に使っていたか（これも何回も言ってきたことです。）ということが気になるのです。中学生や高校生の年代は、いろいろな誘惑があったり、自分の弱い気持ちに負けてしまったりすることもあるかもしれません。しかし、「今ある姿は、自分が理想とする姿なのか。」と自問自答して欲しいと願っています。そして、夢実現のために時間を有効に使って欲しいとも思います。

つい先日の新聞に、本校出身の2人の活躍が紹介されていました。一人はラグビー、一人は剣道です。アスリートがすべてではないですし、新聞に載ることがすべてではありません。しかし、自分の夢に向かって頑張っている、時間を使っているところを見習いたいと思うのです。

3年生は県立入試までわずか。卒業式まで約2週間です。1, 2年生は進級まで約1ヶ月です。有終の美を飾りましょう！

## 第3回学校運営協議会にて

2月18日（木）に、第3回学校運営協議会を実施しました。昨年の10月15日（木）に第2回学校運営協議会を実施した後、学校運営協議会委員の皆さんには、以下のような活動をしていただきました。

- 学校の授業の様子を見て回る。（見守り活動）
- ボランティアクラブへの活動依頼
- 3年生の入試に伴う面接練習の面接官



【第3回学校運営協議会の様子】

そのような活動を通して、委員の方から次のような意見をいただきましたので、紹介します。

- ・ 保護者や地域の方が、学校に入ることはよいことだと思った。ただし、授業態度に差があった。
- ・ 高齢者では集めることができない草をてきばきと集め、ちり袋に入れてくれた。大変助かった。今後の地域貢献が楽しみである。
- ・ 面接の態度がよい生徒がたくさんいた。その反面、目的意識が薄いとを感じる生徒もいた。
- ・ 面接の練習で、「門川町のよいところ」を質問をしたが、皆が同じようなことを答えた。門川町のよさはもっとある。視野を広くもつことや自分の考えを自分の言葉でしっかり話することができるようになってほしい。

このようなご意見を参考にして、コロナ禍は続くかもしれませんが、生徒にとって豊かな体験を、できる範囲で、できる形で実施しなければならないと考えたところです。

## 善行児童生徒の表彰

2月22日（月）に、門川町善行児童生徒表彰式が実施されました。表彰者は、1年生 小城環太さん（時と場に応じたあいさつや言葉遣い）、2年生 金丸舜さん（生徒会活動や社会活動における活躍）、3年生 請関結菜さん（ボランティアクラブの立ち上げ）です。当たり前のことが当たり前でできることや地域貢献に尽力できる生徒がもっともって増えていくことを期待しています。



【善行児童生徒表彰式の様子】